

【解説文】「政策オリンピック」のアイデア募集開始について

今回、政策オリンピックとして、「消防団員及び水防団員の確保対策」、「ひきこもり支援」、「みんなで守る社会インフラ」の3テーマで、アイデア募集を開始しますので、お知らせします。

令和8年度の政策オリンピックは、6つのテーマに取り組みますが、これまで、「アグリパーク構想の推進」、「ふたつのふるさと事業」、「空き家の流通・活用促進」の3テーマについては既に募集を行いました。

これまでの3つは、応募した団体自らが県から補助を受けて事業を実施するものでしたが、今回募集する3テーマは、新たにアイデアのみを募集するもので、審査された優れたアイデアを今後の県の事業に反映していくものです。

まず、「消防団員及び水防団員の確保対策」について、県では、市町村や団員の方々などの声を聞きながら、団員確保に向けた取組を進めていますが、少子高齢化の影響などにより、団員確保が難しい状況が続いています。

消防団・水防団の皆様には、地域住民の生命・身体・財産を守る重要な役割を担っていただいています。このため、政策オリンピックにおいて、広く団員確保に向けたアイデアを募集し、そのアイデアを県の取組に反映していきたいと考えています。

皆様には「こんな消防団・水防団なら入団したい!」と思える魅力ある消防団・水防団にするためのアイデアなど、団員確保につながる効果が期待できるアイデアの応募をぜひともお願いします。

次に、「ひきこもり支援」では、当事者が自分らしく生活を送るための支援に関するアイデアを募集します。

アイデアの例としては、支援団体の活動に広がり生まれ、継続的に活動ができるアイデア、ひきこもり当事者や経験者からの目線で行政が新たに取るべきアイデア、市町村のひきこもり支援担当の視点で県が取るべきアイデアなどが想定されます。

新たな施策の立案に向けて、当事者やご家族の方をはじめ、多くの皆様からご提案をいただきたいと考えています。

最後に、「みんなで守る社会インフラ」では、今後増え続ける社会インフラの維持管理費用の低減を目指すことを目的として、県が管理する道路、河川、砂防施設にかかる効率的な点検・維持管理方法のアイデアを募集します。

アイデアは、道路部門、河川部門、砂防部門の3部門で募集します。

まず道路部門では、道路の除草や除雪、道路パトロールなど日常の点検や維持管理に関するアイデアを募集します。

次に河川部門では、河川堤防の除草に関するアイデアを募集します。

そして砂防部門では、がけ崩れを防止する擁壁周辺の草刈りや土砂の撤去などに関するアイデアを募集します。

また各部門について、その他点検・維持管理等に関するアイデアも募集します。

社会インフラの維持管理費用の低減は、本県のみならず全国的な喫緊の課題であることから、コストがかからない独創的なアイデアや、DXや新技術を活用したアイデアなど、ぜひ多くの方から、解決に向けたアイデアをご提案いただきたいと思います。

応募いただける方は、3件いずれも県内に居住・通勤または通学している方、県内に事業所を有する企業や団体、県内の市町村です。

また、募集期間は、3件いずれも明日から6月16日（火）までとしており、その後、審査を行ったうえで、令和9年度以降の県の事業に反映していきます。アイデアのみで政策オリエンピックに参加できますので、皆様からのたくさんアイデアをお待ちしています。